

知って備える 防災メモ

第33回



土砂災害から命を守るための3カ条

昨年8月に広島市で発生した規模大な土砂災害は、多数の死傷者を出しました。そのような土砂災害から身を守るために、次の3つのポイントを確認しましょう。

居住地や職場が『土砂災害危険箇所』や『土砂災害警戒区域』でないか把握する

自宅などの周辺が『土砂災害危険箇所』や『土砂災害警戒区域』でないか、『登別市防災マップ』などで確認しましょう。

雨が降り出したら土砂災害警戒情報に注意する

集中豪雨や長雨の際には『土砂災害警戒情報』に注意しましょう。

『土砂災害警戒情報』は、大雨による土砂災害発生の危険性が高まったときに、気象庁と北海道が共同で発表する防災情報です。この情報は、気象庁のホームページなどで確認できるほか、テレビやラジオの気象情報でも発表されます。大雨警報などの気象情報と併せて確認しましょう。

報でも発表されます。大雨警報などの気象情報と併せて確認しましょう。



土砂災害警戒情報が発表されたら早めに避難する

『土砂災害警戒情報』が発表されたら、近くの避難場所など、安全な場所に早めに避難しましょう。

避難場所への避難が困難なときは、近くの頑丈な建物の2階以上に緊急避難するか、それも難しい場合は、家の中でより安全な場所（床から離れた部屋や2階）に避難しましょう。

問い合わせ
総務グループ

(☎05-1130)

人が輝き まちがとぎめく

仲間たち

Group

日向ひょつとこ踊り「登別愛好会」

『日向ひょつとこ踊り「登別愛好会」』は、平成26年10月24日に発足しました。現在、会員は65歳から81歳までの女性14人、毎月第1・3・4水曜日の13時から16時まで市民活動センターで練習しています。

宮崎県日向市が発祥地である『日向ひょつとこ踊り』は、『笑つ門には福来たる』を「コンセプト」に「五穀豊穡」・「商売繁盛」・「家内安全」を願って、赤いハッピに白いふんどし、お面を付けて踊るものです。

同会の発足者で代表の堀尾政江さんは、「新聞で『日向ひょつとこ踊り』の記事を見て興味を持ったことが発足のきっかけでした。社会福祉施設への訪問



▲気持ちを一つに楽しく踊る会員の皆さん

『日向ひょつとこ踊り』 を見てくれた人に笑顔 届けたい

や市内外のイベントなどで踊りを披露すると、とても喜んでもらえることがうれしいですね。手を振ったり、足を上げたりする動きが多く、普段使わない筋肉を使うため、健康維持にも役立ちますよ」と話します。

会員の皆さんからは、「みんなが集まって踊ることが楽しい」、「練習をいつも楽しみにしている」といった声が聞かれています。

ことし9月に入会したばかりの小林さんは、「イベントで初めて踊りを見たとき、お客さんがとても喜んでる姿を見て、私もみんなを笑顔にしたいと思入会しました。リズムに乗って踊ることは難しいですが、とても楽しいです」と魅力を話してくれました。

入会希望の方は、堀尾さん(☎05-7450)まで。